

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本建築史（History of Japanese Architecture）		
ナンバリングコード	L20407	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 標準レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:建築設計コース 選択:建築工学コース、住居・インテリアコース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L040751	クラス名	-
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、履修条件	建築設計を志している人は必ず履修すること。建築を学ぶ意欲があることが履修条件です。 講義の内容をその時間内に理解するよう心がけること。授業中の私語は他の受講者の迷惑になるため厳禁。目と手だけで受講するのではなく、目と手と耳、その他の感性を縦横に発揮して受講すること。		
教科書	教科書は用いず、毎回の配付資料によって授業を進めます。		
参考文献及び指定図書	適宜紹介します。		
関連科目	住居論、世界建築史、モダンデザインなど		

○基本情報		
授業の目的	建築を学ぶことの初歩は、過去の優れた事例に学ぶことにはじまります。特にここ日本では、1500年の建築の文化的歴史が育まれてきた経緯があり、その文化的蓄積を基盤に現代でも多くの建築家が世界で活躍しています。つまり、日本の建築は、国際社会において、学ぶに足る文化的内容を有しているということです。この授業では、そのような歴史を有する文化的営みのなかで築かれてきた日本のオリジナリティーと国際的に評価されうる特徴について、日本で建てられてきた建物を介してその内容を解説します。授業を通して、日本建築の特徴を知識として知ることとともに、その文化的内容の豊かさに対して関心を深め、その拠り所へ興味をもつようになることが期待されています。加えて、日本特有の技術的特徴を理解し、そのことについて考え、体系的に理解するとともに、その内容を表現できる能力を修得します。さらに、「日本的なること」について考え、その思考を現代でどのように活用可能な検討し、表現する能力を養います。	
授業の概要	日本において発見された建築空間の魅力を時間軸に沿って説明します。歴史的現代において、伝統に根ざした建築を構築する技術の修得をめざします。講義は多数の建築写真、建築図面を用いて、ビジュアルに行います。各自の設計手法確立の一助となることを期待します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「反転授業」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	配布プリントはワークシート形式になっています。授業中に示された内容に沿ってブランクに適切な用語を記してください。それによって日本建築に関する関心と意欲を高めます。		10点	10点
【知識・理解】	日本において発見された建築空間を体系的に理解するとともにその技術的特徴に関する知識を習得する。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	日本建築の技術的特徴について考え、その考えを他者の考えと比較した上で表現できるとともに、その内容を深めるために他者とコミュニケーションができる能力が発揮できている。		30点	
【思考・判断・創造】	「日本的なるもの」に関する歴史的思考・思潮を理解し、その思考の問題点と課題を検討した上で、自らの考えを独創的に多様なメディアを介して表現することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
＜成績評価のポイント＞ 1. 毎回の授業プリントの成果 (約25点 : 授業プリント1回提出につき2点、期限遅延の場合1点) 2. 毎回の授業課題レポート (約25点 : 授業プリント1回提出につき2点、期限遅延の場合1点) 3. 期末提出レポート(A2) (50点 採点のめやす S:45点以上、A:40点以上、B:35点以上、C:30点以上)
フィードバックは、適宜行います。

○その他
＜成績評価のための提出物＞ 1. 毎回の授業プリントの成果 オンデマンド動画を視聴し、授業プリントを完成させ、 毎回、期日までに＜授業プリント 提出BOX＞に提出 2. 毎回の授業課題レポート オンデマンド動画を視聴し、それをふまえて、課された課題レポートを作成し、 毎回、期日までに＜日本建築史 課題 提出BOX＞に提出 発表担当会に、教室にて課題レポートを発表する。 3. 期末提出レポート(A2) 「日本的なるもの」(建築、芸術作品、技術作品)について、絵と図と言葉でまとめ一枚の紙に表現したもの (A2サイズで作成し画像データに撮影したもの)を提出。 (A2サイズで作成したものを写真で撮り、画像データにて提出。ただし、画像データを見て内容がわかるようなサイズで提出すること。画像データの不備にて、内容確認ができないものは、成績評価できません。) (＜絵と図と言葉＞の図は、平面図・立面図・断面図を指す。また、コンセプトダイヤグラムを描くこと。 絵は、建築物の外観・内観を描く。言葉は、単に日本の建築や芸術作品などの説明ではなく、 あくまでも「日本的なるもの」がどのような仕方で表現されているのかを踏まえ、 「日本的なるもの」の内容が明確に示される内容の文章であること。この点が評価の重要項目。) ・提出物は、デジタルデータのため返却しません。 ・提出物に名前の記載が無い場合、成績評価ができません。 提出前に、必ず、＜名前の記載確認＞をすること。 ・提出画像データのファイル名に学籍番号と名前を記すこと。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	日本建築史（History of Japanese Architecture） 西村 謙司	授業コード	L040751
学修内容				
1. 日本建築史 授業オリエンテーション				
1. 授業シラバスの説明				
2. 第2回授業以降の授業方針の説明				
予習	「世界で活躍する日本人建築家」について、あらゆるメディアを通して調査を行うこと。			約2時間
復習	予習と授業をふまえ、「世界で活躍する日本人建築家」について思いをめぐらすこと。			約2時間
2. 日本の現代建築 1				
現代の「日本的な」建築の事例を紹介します。				
特に、「自然環境との融合」を課題とし、				
自然と建築の関係、地形へ配慮した建築、風景を課題とした建築などに				
「日本的なること」を見出し、解説します。				
予習	日本の現代建築1に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	現代日本の建築のうち、「自然に深い関わりをもつ建築」の事例に関してレポートを作成し、提出してください。			約2時間
3. 日本の現代建築 2				
日本の特質に着眼し、現代日本建築の動向を紹介します。				
特に「日本的空間感情」を課題とし、「木」を主題として建てられた建築の特徴を解説します。				
歴史的に木を主材料として建築を構築してきた日本人が				
現代において独自の発展させてきた「木」を主題とした建築の可能性を見ていきます。				
予習	日本の現代建築2に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「木ということをキーワードとして建てられた建築」の事例に関してレポートを作成し、提出してください。			約2時間
4. 日本の現代建築 3				
日本の特質に着眼し、現代日本建築の動向を紹介します。特に「日本的空間感情」を課題とし、日本建築の造形的・意匠的・空間的特徴である「屋根」、「床」、「透明性」、「彫塑性」に着眼し、日本建築の特徴について、解説します。				
また、戦後の日本「建築の技術革新」を課題とし、なかでも飛躍的に成長した「タワー」と「ドーム」の建築技術について解説します。				
予習	日本の現代建築3に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「日本建築の造形的・空間的特徴」をよく表現している建築作品の事例に関してレポートを作成し、提出してく			約2時間
5. 磯崎新の建築				
世界で活躍する大分出身の建築家磯崎新の建築世界を紹介します。				
特に、大分に多数建築された磯崎新の初期作品の解説をします。				
また、中期・後期の設計スタイルの変遷過程について説明するとともに、				
世界的建築家の建築設計への姿勢について解説します。				
予習	磯崎新の建築に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「磯崎新」の建築作品事例に関してレポートを作成し、提出してください。			約2時間
6. 日本の住居史 1				
日本の住居の変遷過程を学びます。				
生活様式と住宅の平面の関係に関して解説します。				
特に、古代の住宅の特徴について解説します。				
「寝殿造住宅」という建築様式の特徴を説明します。				
予習	日本の住居史1に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「寝殿造住宅」の造形的特徴についてレポートを作成し、提出してください。			約2時間
7. 日本の住居史 2				
日本の住居の変遷過程を学びます。				
生活様式と住宅の平面の関係に関して解説します。				
特に、中世の住宅の特徴について解説します。				
「書院造住宅」という建築様式の特徴を説明します。				
予習	日本の住居史2に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「書院造住宅」の住居観に関してレポートしてください。			約2時間
8. 木構造の仕組み				
伝統工法に着眼し、日本建築の基礎構造となる木構造の仕組みについて学びます。				
日本建築史を学ぶ上で必要になる基礎知識の習得を試みます。				
特に、日本の古建築の技術的特徴について解説します。				
予習	木構造の仕組みに関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「間面記法」について、建築・空間的な観点から、レポートしてください。			約2時間

○授業計画	科目名	日本建築史（History of Japanese Architecture）	授業コード	L040751
	担当教員	西村 謙司		
学修内容				
9. 神社建築 1				
日本古代の神社建築について説明します。 特に、「神明造」、「大社造」、「住吉造」といった本殿様式の基礎的知識の習得とその具体的事例について解説します。				
予習	神社建築1に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「神社建築」の意義について、考え、文章にて特徴を記してください。			約2時間
10. 神社建築 2				
日本の神社建築の歴史について説明します。 特に、「春日造」、「流造」、「八幡造」、「日吉造」といった神社建築の基本様式の基礎的知識の習得とその具体的事例について解説します。				
予習	神社建築2に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「宇佐神宮」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
11. 奈良時代の仏堂				
奈良時代に建てられた仏教建築について説明します。 特に、「法隆寺」、「薬師寺」、「唐招提寺」について具体的な建築内容の解説を行います。				
予習	奈良時代の仏堂に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「奈良時代の寺院建築」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
12. 浄土教建築				
平安時代に建てられた仏教建築について説明します。 特に、浄土教建築について解説します。なかでも「平等院鳳凰堂」の特徴について具体的に説明します。				
予習	浄土教建築に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「浄土教建築」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
13. 中世仏堂 1				
中世から近世にかけて建てられた仏教建築について説明します。 特に、「大仏様」に関する建築について解説します。「重源」が関わった「東大寺」、「浄土寺浄土堂」については、詳細に説明をします。				
予習	中世仏堂1に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「重源の建築観」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
14. 中世仏堂 2				
中世から近世にかけて建てられた仏教建築について説明します。 特に「禅宗様」に関する建築について解説します。 具体的に「大徳寺」、「円覚寺」について解説します。また、「新和様」、「折衷様」という中世の建築様式について説明します。				
予習	中世仏堂2に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「禅宗の建築」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
15. 中世仏堂 3				
中世から近世にかけて建てられた仏教建築について説明します。 特に「和様」、「新和様」、「折衷様」に関する建築について解説します。				
予習	中世仏堂3に関する動画を見、授業プリントを作成し、提出してもらいます。			約2時間
復習	「和様」について、調査し、考え、その特徴を述べてください。			約2時間
16. 課題提出				
「日本的なるもの」(建築、芸術作品、技術作品)について、絵と図と言葉でまとめ一枚の紙に表現したもの (A2サイズで作成し画像データに撮影したもの)を提出。 (A2サイズで作成したものを写真で撮り、画像データにて提出。ただし、画像データを見て内容がわかるようなサイズで提出すること。 画像データの不備にて、内容確認ができないものは、成績評価できません。)				
予習				
復習				